

そろそろ真剣に考える時

いよいよ2年生になります。進路選択への具体的な活動を始める時が来ました。既に進学したい学校や就職したい会社をイメージできている人もいますが、この春休みを利用して、保護者の方と将来についてじっくり話をしてください。

その前に…**進路選択時によく使う言葉の意味を再確認しておこう!**



進路希望調査の就職の種類

学校紹介	学校に届くもの、または高卒WEBで公開される「高卒専用求人」に応募すること。応募書類の提出日、試験開始日、など全国ルールがあり、自分勝手に応募することはできず、全て学校を通して進める。
公務員	自衛隊・警察官・県庁職員・市町村職員・消防吏員など 公務員対策講座や公務員試験模試などに参加することをオススメ。 (筆記試験の対策ができていないと難しい。今後の講座や模試の案内に要注意。)
自己就職	自分で会社を探して就活をすること。3年生の3学期にならなければ、高校生が自力で正社員求人に応募することはできない。
縁故就職	家族や親戚などのつながりで就職すること。
自家業	自分の家の仕事を継ぐこと。



大学入試でよく聞く言葉

私立と国公立では違いがあります。また、入試種類により受験申し込み期間や試験期間が異なるので早目に調べること。

AO入試	アドミッション・オフィス入試。学習意欲や大学への適性、個性・能力など、受験生の未来の可能性を評価する入試。大きく「論文重視タイプ」「自己推薦タイプ」「対話重視・予備面談タイプ」の3つに分けられる。(総合型選抜と名称変更予定)	
推薦入試	高校での取り組みや実績をもとに、受験生の個性や意欲を評価する。大半は学校長の推薦が必要で、学業成績やスポーツ・課外活動実績などについて一定の水準が求められる。(学校推薦型選抜と名称変更予定)	
	公募制	大学が求める出願条件を満たし、学校長の推薦があれば出願できる
	指定校制	大学が指定した高校の生徒のみ出願できる。
	自己推薦	受験生自らが自分の能力をアピールする入試
大学入学共通テスト	2021年1月からセンター試験に代わり実施される試験。マークシート式に加えて国語、数学では記述式を導入する。	
評定平均	全科目の成績(5段階)を足して科目数で割った数。1年～3年の1学期までのすべての評定で計算されるので3年になってから頑張っても遅い。	

進学を希望する場合も就職を希望する場合も、「そこ(学校・会社)で何をやりたいのか、何を頑張りたいのか」ということまで深く考えてください。それにはまず学生の本分である「勉強」を頑張ること。

勉強するから、何をしたいかわかる

勉強しないから、何をしたいかわからない